

令和6年度 第1回講演会



今年度の第1回講演会は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震でも活動された、清水病院所属のDMAT 隊員の皆さまから、活動の様子などをご講演いただきました。学生の皆さんにとっては、驚きと共に憧れを抱く機会にもなったようです。



講演会のご案内

地震や豪雨などの災害が増えている今、災害現場に速やかに入り、様々な視点から生命を守る活動をしているDMATの存在をご存じでしょうか。
実際に能登半島地震の災害現場で活動されたDMAT 隊員の方から、貴重な体験を語っていただきます。災害時看護に求められていることは何か、他の職種との連携の在り方などを知る機会にしましょう。

日にち：令和6年5月2日（木）
時間：13時30分～15時30分（予定）
場所：視聴覚室

テーマ：
『災害医療（DMAT 活動）について』

講師： 清水病院 石原 智彦 様
菊池 誠 様
高橋 綾子 様



質疑応答では、出勤時やその後のご家庭のこと、金銭的なことなど、学生の少しの気がりにも丁寧にご回答いただき、学生の理解が深まりました。

